

競 技 注 意 事 項

1 競技運営規則について

本大会は、2026 年度日本陸上競技連盟競技規則、同駅伝競走規準、および本大会規定に基づき実施する。
なお、本駅伝では、シューズの検定は行わないものとする。

2 出場選手について

- (1) 正式オーダーは、監督会議受付時に所定の用紙で提出すること。
- (2) オーダー提出後の選手変更は、補員をその区間の交代として補充し、大会当日の8時45分までに医師の診断書を添えた選手変更届を大会本部の大会総務へ提出すること。
ただし緊急の場合については大会総務で協議し対処する。

3 招集時刻および招集場所について

- (1) 学校受付は、8時20分～8時45分までに行う。その際、1区走者はタスキを受け取ること。
- (2) 学校受付をもって、第1点呼は完了とする。
- (3) 最終点呼は次のとおりとし、中継所付近で行う。胸・背にアスリートビブスをつけたユニフォームを、本人が競技役員に提示すること。

男 子

区 間	最終点呼	先頭通過予定
1区(10km)	10:20	10:30
2区(3km)	10:45	11:00
3区(8.1075km)	10:54	11:09
4区(8.0875km)	11:19	11:34
5区(3km)	11:44	11:59
6区(5km)	11:53	12:08
7区(5km)	12:08	12:23

女 子

区 間	最終点呼	先頭通過予定
1区(6km)	13:35	13:45
2区(4.0975km)	13:50	14:05
3区(3km)	14:03	14:18
4区(3km)	14:13	14:28
5区(5km)	14:23	14:38

4 競技について

- (1) 選手は定められたコースを走行し、交差点等においては、競技役員の指示に従うこと。
- (2) 折り返し点は、黄色コーン(折返しと明記)を設置する。
- (3) 選手は、必ずタスキを肩から脇下にかけてしなければならない。タスキの受け渡しは中継線の進行方向20m以内とする。タスキ渡しに際して、前走者がタスキを外すのは中継線手前 400mから、次走者がタスキをかけるのは中継後 200mまでをおおよその目安とする。
- (4) ドーム前中継所のタスキ受け渡しゾーンは、次のとおりとする。

	右側ゾーン	左側ゾーン
男 子	第 1 ・ 3	第 2 ・ 4 ・ 6
女 子	第 1	第 2 ・ 4

※フィニッシュ前の最終走者は男女とも右側ゾーンを走行する。

- (5) 第1区の走者のスタート要領は、次のとおりとする。

① スタート時のコース順は、監督会議において抽選とする。男女とも、単独参加校は前列に並び、支部チームはその後方に並ぶこととする。

② スタート5分前、1分前、30 秒前、10 秒前に、その旨アナウンスする。10 秒前の後、「オン・ユア・マークス」とコールする。この時スタートラインに並び信号器の合図でスタートする。

- (6) 繰り上げスタートについては、男子第4中継所(5区)において先頭通過10分以降、女子第4中継所(5区)において先頭通過10分以降に実施する。それ以外の区間においても、大会運営に支障をきたす恐れがあると思われる場合には実施することがある。
繰り上げ用タスキは本部で用意する。

- (7)レース中に選手が不慮の事故のため競技を中止した場合、次区間走者から競技を続行することができる。
この場合総合記録は認められないが、無効となった区間以外区間記録は認める。
- (8)悪天候等によりレースが実施できなかった場合、11/3(火)に維新公園補助競技場でトラックレースを実施し、
タイムを合算して順位を決定する。また、レース途中で中止せざるを得なくなった場合は、最後に全チーム
が中継を終えた次の区間から上記同様にトラックレースを実施し、タイムを合算して順位を決定する。
- (9)人・車両等による伴走および飲食物の補給、その他の援助を行うことはできない。これに類する行為があっ
た場合は、失格の対象となる。ただし主催者の設置する給水所はこの限りではない。給水所の詳細につい
ては監督会議で連絡する。
- (10)各支部チームについては、オープン参加とする。

5 選手および付き添いの配置・収容、並びに荷物について
各チームの責任において行うこと。

6 表彰について

- 団 体：第1位から第8位までのチームと支部チームの第1位
個 人：各区間の第1位走者(支部チームはのぞく)
躍進賞：前年度のタイムから最もタイムを短縮したチーム(支部チームはのぞく)

7 抗議について

- (1)大会運営について支障や問題が生じた場合には、大会総務で協議し解決に当たる。
(2)抗議は、各チームの監督が各支部の駅伝専門委員に申し出ること。

8 全国大会・中国大会への出場について

- (1)本大会は、12月20日(日)に京都市で開催される全国高等学校駅伝競走大会、並びに11月14日(土)
に鳥取県境港市で開催される中国高等学校駅伝競走大会の山口県予選会を兼ねる。全国大会へは第1
位校が、中国大会へは第1位校～第6位校が出場できる。両大会とも出場辞退校が出た場合には、次
位校の繰り上げ出場を認める。但し、申し込み締め切り後の繰り上げ出場は認めない。
- (2)1位および6位(中国大会が山口県開催の場合は10位)に着差なしが出た場合の対応については、
以下の通りとする。
- ・1位着差なしの場合は以下の①～③の順に決めていく。
①区間賞が多い方、②全区間の区間順位を合計した数の少ない方、③抽選。
 - ・6位(または10位)着差なしの場合は両校とも中国大会出場とする。

9 医務について

大会出場中の急病や事故については、応急処置を行うが、それ以外の責任は一切負わない。

10 貴重品管理について

各自または各チームの責任において行うこと。

11 その他

- (1)レース経過は速報サイトに掲載するが、速報のための参考記録であり公式記録ではない。
(2)ゴミは各チーム持ち帰り処理するなど、大会会場の環境美化に協力すること。
(3)横断幕等の設置は、コース脇移動フェンスは禁止とする。それ以外のところも、終了後はただちに撤収する
こと。
(4)のぼり旗の設置は、全国大会・中国大会に準じてドーム内スタンドのみとする。コース脇で手に持つことも
禁止とするので十分注意すること。
(5)フィニッシュ後ただちに各チームはタスキを競技役員に返納すること。
(6)交通規制開始時刻(午前7時)以前に来場した車両は、北駐車場へ移動させること。レース中 の出入りは
一切できない。
(7)きさら園内では、自転車の利用は禁止されており、レース内も同様とする。